

課目名: エステティック フェイシャル機器② 課目コード:P104

単位名: 美容科 エステティック (高周波直接法、間接法、低周波)

1単位(30単位時間)

開講時期: 2年(前期)

担当教員 : 小林由佳 武田真美 藪田恵津子 小西充子

●課目授業の目的と学生の達成目標:

高周波電流、電極の理解

高周波直接法・間接法使用のメカニズムの理解・使用する際の適応、効果、禁忌、注意事項、手順の理解・高周波直接法使用の原理的説明・高周波間接法使用の原理的説明・使用する際の適応、効果、禁忌、注意事項、手順の理解

●教材・ならびに教育方法:

筆記試験・合格点70点以上・筆記試験追試・実習時間における実践でのチェック・実技チェックテスト・口頭試問

●特に必要な教育方法、講師、協力企業等:

選択授業購入教材・共同購入粧剤使用

●この課目の今後の展開

CIDESCO試験対応

●備考

低周波 フェイシャル編 10 時限

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1～2	4	低周波フェイシャル理論、・目的と効果 断続平流について 使用機器の説明・禁忌事項・顔の筋肉名とその場所 起始と停止・筋肉が動くメカニズム	
3～4	4	低周波フェイシャル実習 消毒法、禁忌事項、使用方法・注意点、手順	
5	2	相モデル実習 低周波機器を使用して実際に顔の筋肉を動かす 機器の使用法の習得 筋肉名確認・関連化粧品(マッサージ剤・マスク剤)の選択	

高周波 直接法・間接法 20時限

回	時限	授業内容・授業方法	実務経験のある教員
1～2	4	高周波直接法理論 電流、方法、電極、禁忌事項、危険性、メカニズム 目的と効果、注意事項、スパークング	
3～4	4	高周波間接法理論、相モデル実習 メカニズム、目的と効果、注意事項、方法、消毒法 アフターケア ボリューム設定、手順、時間を正しく理解する・トラブル別にア タッチメントを選択できる事	
5～10	12	相モデル実習 ボリューム設定、手順、時間を正しく理解する トラブル別にアタッチメントを選択できる事	